

親から子へ伝える
引揚げの記憶



絵画展
おとうさんの絵本
大連のうた

平和祈念展示資料館・舞鶴引揚記念館 戦後75年特別企画



令和2年

7月23日(木)・祝～9月16日(木)

時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

会場 舞鶴引揚記念館 企画絵画展示室
京都府舞鶴市字平1584 引揚記念公園内

主催 平和祈念展示資料館(総務省委託)／舞鶴引揚記念館

舞鶴引揚記念館
MAIZURU REPATRIATION MEMORIAL MUSEUM





「アカシヤ並木」



「さんざし売り」



「まちかど」

おとうさんの絵本 大連のうた 絵画展

この問いをきっかけに、当時、海外で暮らしていた多くの日本人や戦争のことを知らない幼い息子のために、忠昭さんは自分が子どもだった頃の記憶をもとに絵を描きました。そこに妻のキヌ子さんが詩を添えて、一冊の絵本ができました。

ともだちと遊んだ日々、迫りくる戦争の影、大好きなふるさとの別れ…。大連でのさまざまな思い出を、人間味あふれるタッチで描いた32点の絵画です。

父から息子へ贈った『おとうさんの絵本 大連のうた』の世界をご覧ください。

戦後75年を迎える本年、海外からの引揚者の体験を伝える特別企画として、平和祈念展示資料館（東京・新宿）の所蔵絵画を紹介する展示会を開催します。

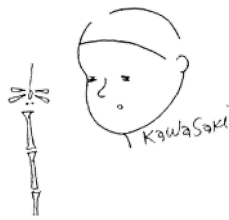
.....

中国の大連に生まれ、終戦によって日本へ引き揚げた川崎忠昭さん。月日が経ち父親になった忠昭さんに、小学校1年生の息子は尋ねました。

「おとうさんは中国で生まれたのに、どうして中国人じゃないの？」

作者・川崎忠昭 プロフィール

- 1932（昭和7）年：中国の大連で果樹園を経営する家に7人兄弟の末っ子として生まれる。引き揚げるまでの幼い日々を大連で過ごす。
- 1947（昭和22）年：終戦後、15歳で母と姉と共に熊本県に引き揚げる。大学卒業後は、商業デザイナーとして活躍する。
- 1978（昭和53）年：『おとうさんの絵本 大連のうた』が出版される。
- 1979（昭和54）年：47歳で逝去。



舞鶴引揚記念館

開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）

入館料 【一般】 個人 400円／団体 300円／共通券 600円
【学生】 個人 150円／団体 100円／共通券 200円

※共通券…舞鶴引揚記念館、赤レンガ博物館にご入館いただけます。
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方は、受付でご呈示ください。入館料が半額になります。

平和祈念展示資料館（総務省委託）

東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 33階 Tel.03-5323-8709 Fax.03-5323-8714
<https://www.heiwakinen.go.jp>

舞鶴引揚記念館

京都府舞鶴市字平 1584 引揚記念公園内 Tel.0773-68-0836 Fax.0773-68-0370
<https://m-hikiage-museum.jp>